

しょうがくせい しゅわきょうしつ
 — 小学生ミニミニ手話教室 —

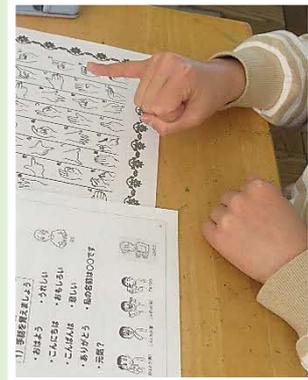
手話の授業(1/29)



↑手話で子どもたちに話しかける講師のお二人



↑聞こえ方や聞こえなくなった原因はさまざまであることを学びました。



←自分の名前の指文字を練習する児童



↑講師の手話を真似る子どもたち



←クイズ「言葉を使わないで、すいかを表現すると、…」に挑戦する先生と児童

しじょうなわてし がっこう しゅわ げんご にんしき た き
 四條畷市の学校では手話は言語であるとの認識に立ち、聞こえない
 ことへの理解と手話の普及に取り組んでおり、その一環として、小学校
 で手話の授業が行われました。講師の方が手話で話し、それを通
 訳者が訳して子どもたちに伝える形で授業が進められ、手話の成り
 立ちとあいさつや感情を表す手話を教わりました。また、自分の名前
 を指文字で表したり、言葉を使わずに絵の内容を人に伝えたりするコ
 ミュニケーションを体験しました。授業を通して、子どもたちは聴覚障
 がいへの理解を深め、手話を学ぶことを通して「伝える」ことの大切さ
 に気づきました。

四條畷市心をつなぐ手話言語条例

<https://www.city.shijonawate.lg.jp/soshiki/30/9940.html>

